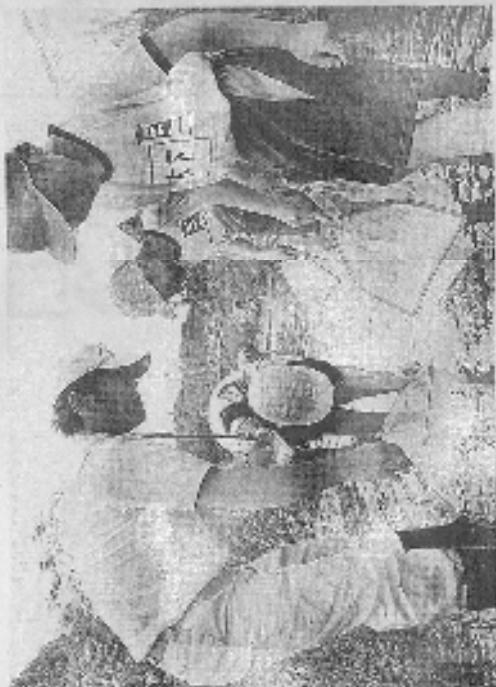


25.5.24 宮

五感使い 水辺調査

日吉の大王谷学園初耳を聴取したり、おもてを尋ねる4年生がいる。かじはり、耳に触るフルなど、市を流れる庄手川回遊させ水辺調査や生態で五感を使つて水辺調査を行った。医者は「川の様子を正確に記した。

大王谷学園初等部4年



生物を見たり、耳に触るなどして水辺調査を行った

生き物いっぽい

庄手川の環境確認

この取り組みは、庄手川を終了した河川の環境変化を監視する目的で、日本水土保持研究所が同様にモニターリングを実施。今回市や保健所も協力して実施した。

この日は、庄手川の元井小学校近くの庄手川を歩道。大班にかかる川べりで、見えやせの水の音や虫の声、水の透明度などいろいろと観察用紙された調査表をチェックしていく。

その後、庄手川に入り網を使って生き物を探し、子供たちは、蟹を上げながら口に口ひきやアメンボ、カニなどを水底で見つけ、翌日、庄手川壁の石に付けてある生物を確認した。

最後は、調査結果とともに、今後の環境保全のために必要なことを説いて講義した。交通局監査官(う)は、「庄手川はよくわかるが、こんなにも多くの生物がいて、それが生き残ると思わなかつた」と語っていた。